

オペラ講座『死の都』(初級編・全2回)

亡き妻への永遠の愛

2025年3月1日(土)・2日(日)の『死の都』の上演に先立ち、公演をより楽しみたい方、オペラ初心者の方におすすめの講座を開催。映像や音楽を交えながら、本公演を存分に予習していただける講座です。



第1回 2025年1月5日(日) 14:30~16:30

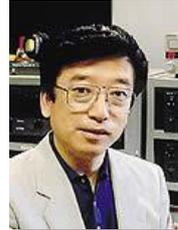
～コルンゴルトってだれ? 死の都とは?～

エーリヒ・コルンゴルトとはどんな人? のちにアメリカに移り、ハリウッドの映画音楽の巨匠ともなった作曲家だとは意外です。第1回は彼についての紹介と、『死の都』の基本ストーリーを映像資料その他で紹介。そもそも「死の都」とは何でしょうか?

第2回 2025年1月19日(日) 14:30~16:30

～原作では絶望、オペラでは希望のラストシーン～

ベルギーの作家ローデンバックの原作は、灰色の街ブリュージュを背景とした憂鬱な物語。コルンゴルトはこれを豪壮華麗なオペラとし、幕切れに希望の光を持たせましたが、その通りに演出されるとは限らないのがオペラの醍醐味。どんな結末になるか比較しましょう。



とうじょう ひろお
講師: 東条 碩夫
(音楽評論家)

音楽評論家。エフエム東京でクラシック音楽番組の制作全般に携わり、1975年文化庁芸術祭ラジオ音楽部門大賞受賞番組制作。著書・共著に「朝比奈隆ベートーヴェンの交響曲を語る」(中公文庫)、「伝説のクラシック・ライヴ」(東京FM出版)他。雑誌「モーストリー・クラシック」に「東条碩夫の音楽巡礼記」連載中。ブログ「東条碩夫のコンサート日記」を公開中。

【会場】コラボしが21(びわ湖ホール向かい)3階 大会議室(両日とも)

【料金】全2回通し券: 2,200円

1回券(当日残席がある場合のみ販売): 1,650円[自由席・税込]

【チケット発売】

一般 2024年10月5日(土)10:00~ 友の会優先 2024年10月3日(木)10:00~ (インターネット・チケットおよび電話受付のみ)

【お問合せ・チケット取扱い】

びわ湖ホールチケットセンター TEL 077-523-7136 または ホームページ <https://www.biwako-hall.or.jp/>

10:00~19:00/火曜日休館。12月29日(日)、30日(月)、1月1日(水)から3日(金)は休館。

ただしチケットセンターは、12月30日(月)電話受付のみ、12月31日(火)は10:00~17:30まで電話受付・窓口ともに営業。

※6歳以上入場可。 ※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。 ※お申込みいただいた後、期限内に所定の手続きをされなかった場合には、チケットの販売・お引渡しをお断りします。 ※都合により講座内容等が変更になる場合がございます。 ※コラボしが21の駐車場はご利用いただけません。びわ湖ホール駐車場(有料)ほかをご利用ください。



びわ湖ホール プロデュースオペラ

コルンゴルト作曲 『死の都』 全3幕(ドイツ語上演・日本語字幕付)

2025年3月1日(土)・2日(日) 両日とも 14:00 開演 [大ホール]

指揮: 阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督) 演出: 栗山昌良 再演出: 岩田達宗 管弦楽: 京都市交響楽団

SS席 25,300円(24,200円) S席 20,900円(19,800円) A席 18,700円(17,600円) B席 15,400円(14,300円) C席 12,100円 D席 8,800円 E席 5,500円

U30席(30歳以下)3,300円 U24席(24歳以下)2,200円 [全席指定・税込] ※()内はびわ湖ホール友の会会員料金/びわ湖ホールのみ取扱い

【青少年割引当日券あり】公演当日SS~E席に残席がある場合に限り、青少年(24歳以下)の方に対し、定価の半額で当日券を販売します。(劇場窓口のみで取り扱い。学生証等年齢の分かるものをご提示ください。)

チケット発売 一般 2024年10月5日(土)10:00~ びわ湖ホール友の会優先 2024年10月3日(木)10:00~

同時発売!

【主催】滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

【助成】

文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

第54回 滋賀県芸術文化祭参加事業



叶 匠 壽 庵



平和堂



谷口工務店

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー